

8/22(土) 五稜郭タワー アトリウム

第1回 11:00-11:30
第2回 13:30-14:00

科学演劇
「銀河新幹線の夜明け」

- 参加費：無料 ■申込不要
- 出演：函館高専演劇愛好会 SSH 科学楽しみ隊



15:45-16:45

サイエンスダイアログ
北海道らしい
野生動物とのつき合い方

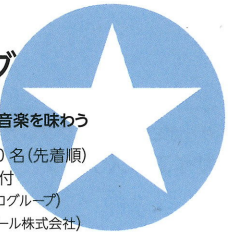
- 参加費：無料 ■申込不要
- ゲスト：荒井一美(北海道渡島総合振興局) 金森春菜(ハンター)
- 聞き手：美馬のゆり(サイエンス・サポート函館/公立はこだて未来大学)



17:00-18:30

サッポロクラシックプレゼンツ
サイエンスライブ
北海道の大地に乾杯
ONLY北海道クラシックビールと音楽を味わう

- 参加費：無料 ■定員：150名(先着順)
- 事前申込不要、当日会場で受付
- 話し手：王一郎(ラッキーピエログループ) 生方誠司(サッポロビール株式会社)
- 演奏：Hakodate Jazz Scientific



8/23(日) 函館市青年センター

13:00-14:30

バイオフィェ
土の科学と農業の不思議

- 参加費：無料 ■定員：30名(先着順)
- 事前申込不要、当日会場で受付
- ゲスト：齋藤訓之(Food Watch Japan 編集長)
- ファシリテータ：佐々義子(NPO 法人くらしとバイオプラザ 21)



8/24(月) 函館市中央図書館 喫茶ボルヤン

18:30-20:00(開場 18:00)

科学夜話
木質バイオマスの時代がやってくる

- 参加費：飲料代 ■定員：20名(先着順)
- 事前申込不要、当日会場で受付
- ゲスト：池田誠(北海道国際交流センター)
- ファシリテータ：東典子(サイエンス・サポート函館/北海道大学)



8/25(火) 函館市中央図書館 喫茶ボルヤン

18:30-20:00(開場 18:00)

科学夜話
大沼の環境をプログラムせよ
湖水と牛の意外な関係

- 参加費：飲料代 ■定員：20名(先着順)
- 事前申込不要、当日会場で受付
- ゲスト：田中邦明(北海道教育大学函館校)
- ファシリテータ：鈴木せいら(フリーライター)



8/26(水) 函館市国際水産・海洋総合研究センター

18:30-20:00(開場18:00)

函館オーシャンナイト
イカ：誰でも知っている生き物のあまり知られていない話

- 参加費：無料 ■定員：30名(先着順)
- ゲスト：澤村正幸(北海道立総合研究機構 水産研究本部 函館水産試験場)
- 申込方法：国際水産・海洋総合研究センターまでお電話でお申込みください。TEL▶0138-21-4700
- ※空席があれば当日会場でも受け付けます。



8/27(木) 函館市中央図書館 喫茶ボルヤン

18:30-20:00(開場18:00)

科学夜話
アリと話をする日を夢見て

- 参加費：飲料代 ■定員：20名(先着順)
- 事前申込不要、当日会場で受付
- ゲスト：村上貴弘(九州大学)
- ファシリテータ：東典子(サイエンス・サポート函館/北海道大学)



8/28(金) 函館蔦屋書店 2Fステージ

19:00-20:30(開場18:30)

科学夜話プレミアム
クマ森、シカ森、ヒトの森

- 参加費：無料 ■定員：50名(先着順)
- 事前申込不要、当日会場で受付
- ゲスト：寺田文字(林業試験場 道南支場)、金森春菜(ハンター)
- ファシリテータ：東典子(サイエンス・サポート函館/北海道大学)



8/29(土) 五稜郭タワー アトリウム

10:00-15:00

科学屋台
土の吸着能力を知ろう

- 参加費：無料 ■事前申込不要
- 出展：(地独)北海道立総合研究機構 農業研究本部 道南農業試験場
- 出展：函館市縄文文化交流センター、NPO 法人函館市埋蔵文化財事業団

グリーンウッドワーク体験

- 出展：木族工房、(一財)北海道大沼国際交流協会

※科学屋台は 8/22、8/30 にも内容を変えて開催します。詳しくはウェブ、公式ガイドで。



8/29(土) 函館市中央図書館 視聴覚ホール

16:00-18:00(開場15:30)

科学夜話スペシャル
市民が護る地域の歴史文化遺産

- 参加費：無料
- 定員：150名(先着順/事前申込不要、当日会場で受付)
- ゲスト：石井淳平(厚沢部町 総務政策課 学芸員)
- 聞き手：田柳恵美子(サイエンス・サポート函館/公立はこだて未来大学)



主催：サイエンス・サポート函館
事務局 〒041-8655 函館市亀田中野町116-2
公立はこだて未来大学内

☎ 0138-34-6527(平日9:00-17:00)

🌐 <http://www.sciencefestival.jp/>



みんなの環境もんげい

環境って、なにが「問題」なんだろう？

大人のための科学祭2015ガイド：イベント内容紹介

科学演劇	「銀河新幹線の夜明け」	来年ついに、みんなが楽しみにしている新幹線が函館にやってきます！でもこれは、時空を超えて旅するちょっと特別な新幹線のおはなしです。「こちら銀河新幹線管理局でございます。皆様のご乗車を心よりお待ちしております」 ■対象：子どもから大人まで ■主催：サイエンス・サポート函館
サイエンスダイアログ	北海道らしい野生動物とのつき合い方	道南でも「ヒグマ出没」「エゾシカの食害」をよく耳にします。豊かな自然の中で暮らすことは、野生動物ともうまくつきあっていくこと。10年前の渡島支庁（現・渡島総合振興局）の取組みを足がかりに、最新情報を交えて一緒に考えていきましょう。 ■対象：大人向け ■主催：サイエンス・サポート函館
サッポロクラシックプレゼンツ サイエンスライブ	北海道の大地に乾杯 ONLY北海道クラシックビールと音楽を味わう	恒例のサッポロビールプレゼンツ。今年はご当地バーガーラッキーピエロ王社長を招いて環境への取組みについてのトークセッションと地元アーティストのハーモニーです。もちろんクラシックビールの試飲もあります。 ■対象：大人向け ■主催：サッポロビール(株) ■共催：函館市、(公財) 北海道学術振興財団 ※お車を運転の方、未成年者のアルコール試飲は固くお断りします。
バイオカフェ	土の科学と農業の不思議	植物は無機成分で育つのに有機農業とはこれ如何に？この問いから土のメカニズム、近代農業史に注目すると人間の知恵、自然の力が垣間見えます。農業現場を取材してきた記者と一緒に美味しい農作物の背景に迫りましょう。 ■対象：子どもから大人まで ■主催：NPO 法人くらしとパイオプラザ 21
科学夜話	木質バイオマスの時代がやってくる	北海道は森林に囲まれ、豊富な木質資源を抱えています。これからのエネルギーのあり方、そして地域雇用についても考えながら、新しい地域づくりについて話します。 ■対象：大人向け ■主催：サイエンス・サポート函館、SSH 科学楽しみ隊
科学夜話	大沼の環境をプログラムせよ 湖水と牛の意外な関係	約 400 年前、駒ヶ岳の噴火によって形作られた大沼の自然。近年の湖水汚染の原因をたどっていくと、思わぬところに鍵がありました。私たちの生活と密接につながる自然と、どのように関わっていくか考えてみませんか？ ■対象：大人向け ■主催：サイエンス・サポート函館、SSH 科学楽しみ隊
函館オーシャンナイト	イカ：誰でも知っている生き物のあまり知られていない話	日常生活の中で普通に目にし、函館の「市の魚」でもあるイカ…実は一般にはほとんど知られていないこと、よく分かっていないことも多いのです。分類、生態、漁業など、誰もが知っているイカの、あまり知られていない話を紹介します。 ■対象：大人向け ■主催：(一財) 函館国際水産・海洋都市推進機構 ※イベント終了後、4F展望ロビーをご案内します。ぐるりと函館湾を望むロケーションからの夜景をお楽しみください。
科学夜話	アリと話をする日を夢見て	アリと会話ができる!? 実は、アリはいろんな音を出してコミュニケーションしていることが分かってきました。世界でまだほとんど知られていないアリの言葉を一緒に聞いて、それがどんな意味を持っているのか考えてみましょう！ ■対象：大人向け ■主催：サイエンス・サポート函館、SSH 科学楽しみ隊
科学夜話プレミアム	クマ森、シカ森、ヒトの森	森や畑を荒らし、時には人をも襲うクマやシカの被害は深刻です。しかし、大型獣の存在は豊かな自然の証、地域の財産です。対策、資源としての利用、そして共存への道を、ハンターや森林研究者とともに考えましょう。 ■対象：大人向け ■主催：サイエンス・サポート函館
科学屋台	土の吸着能力を知ろう	土には肥料成分などをくっつける(吸着)能力があります。そしてその能力は土の種類の違いによっても異なります。土にインクを溶かした水を通して確かめてみよう。
	縄文を科学する 自然と縄文人と道具の関係	自然と共生していた縄文人は、身近にある素材の特性を活かして様々な道具を生み出してきました。植物から繊維を取り出して縄をつくりながら、道具と素材の関係を科学的な視点からひも解きます。 製作した縄はしおりにして、来場者に記念に持ち帰っていただきます。
	グリーンウッドワーク体験	グリーンウッドワークとは、乾燥していない「生木」を使ったものづくりのこと。今回は木を削る独特の感触を楽しみながら、ミニハンマーのストラップづくりに挑戦します。製作したストラップはお持ち帰り頂けます。
科学夜話スペシャル	市民が護る地域の歴史文化遺産	道南圏で歴史文化遺産の保護・振興に携わってきた考古学者・石井淳平さんは、行政主導の保護施策に対して、市民がみずから GIS (地理情報システム) や携帯端末を駆使して地域の資源を観測し、地域を超えてデータを共有する新しい方法を提唱してきました。“市民が護り+伝え+楽しむ”活動の意義について議論します。 ■対象：大人向け ■主催：サイエンス・サポート函館

各会場の所在地

●五稜郭タワー：函館市五稜郭町 43-9

●函館市青年センター：函館市千代台町 27-5

●函館市中央図書館：函館市五稜郭町 26-1

●函館市国際水産・海洋総合研究センター：函館市弁天町 20-5

●函館蔦屋書店：函館市石川町 85-1